

施策の方向 1-2 地域のエネルギー資源の有効かつ効率的な利用の促進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
太陽エネルギー (太陽光・熱) 利用量	【目標】2020年度までに2005年度比30倍とすること 【現状】太陽光発電設備容量：3,069kW ほか(2005年度) 【指標がめざす方向】多いほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：太陽エネルギー(太陽光・熱)利用量 住宅用太陽光発電設備設置補助は累計3,392件 11,599kW (対前年度：増加、対基準値：多い)	3	3

現 状

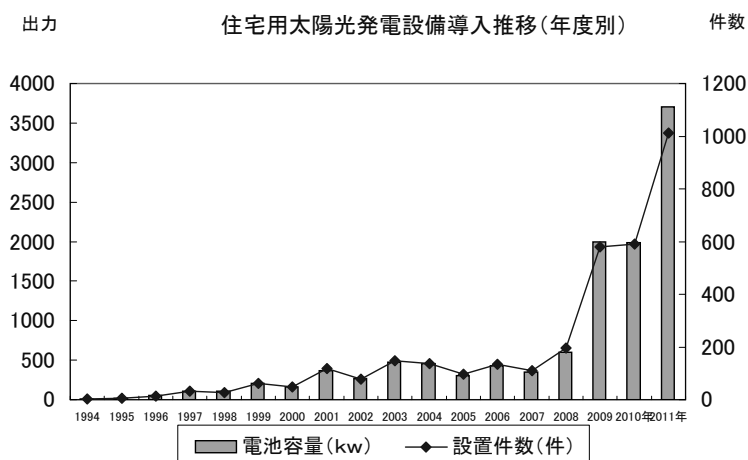
(1) 現状・課題

本市のエネルギー消費の特徴として、臨海部の産業部門での消費が全体の約8割となっていることがあげられます。

再生可能エネルギー源の利用は、エネルギーの利用段階で温室効果ガスをほとんど排出せず、地球温暖化対策の推進にも大きく貢献します。特に、太陽光、太陽熱といった再生可能エネルギー源は、特定の地域に偏在しているものではなく、地球上であればどこでも利用できることから、「地産地消のエネルギー」といった特性を有しており、本市でもその重要性を認識し、導入促進を行っています。

(2) 再生可能エネルギー源の利用設備の導入状況等

本市では、2006年度から住宅用太陽光発電設備設置補助を開始しており、導入実績については3,392件、11,599kW(2011年度末実績)となっています。



さらに、2011年度からは、住宅用太陽熱利用設備設置補助を開始し、太陽エネルギーの普及促進を行っています。

また、公共施設への太陽光発電設備設置について、率先導入を行い、これまでの累計で65施設に導入しています。

さらに、大規模なエネルギー消費地域である本市の場合、こうした電力を積極的に活用し、他地域での普及を需要側から推進するため、グリーン電力証書の利用を推進しています。

【グリーン電力使用実績】

用途	2011年度購入量	累計
本庁舎等	477,000 kWh	2,080,000 kWh
イベント(CCかわさき環境ミーティングなど)	11,000 kWh	45,440 kWh

(3) エネルギーの有効利用

○未利用エネルギー等の利用

現在行われている公共施設の排熱利用としては、ごみ焼却施設における発電及び温水プールへの供給、入江崎総合スラッジセンターにおける下水汚泥焼却熱の温水プールでの利用が行われています。

- ・ 廃棄物エネルギー 4か所
- ・ 下水熱エネルギー 2か所

○コージェネレーション*44

公共施設におけるエネルギーの効率的な利用の推進を図るために、多摩区総合庁舎、川崎病院、南部生活環境事業所に続き、2005年度に多摩病院にコージェネレーションシステムを導入しました。

具体的施策事業の概要

施策の方向

施策の柱

I-2 地域のエネルギー資源の有効かつ効率的な利用の促進

I-2-1 再生可能エネルギー源等の利用

I-2-2 地域における低炭素都市づくりの推進

I-2-1 再生可能エネルギー源等の利用

I-2-1-1 ソーラーシティプロジェクトの推進

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
住宅用太陽光発電設備設置補助事業の実施 [環：地球環境推進室]	総計：1,012件（約3,707kW） <内訳> 個人住宅 1,011件（約3,697kW） 管理組合 1件（約10kW）	総計：1,503件 <内訳> 個人住宅 1,500件 管理組合 3件
公共施設及び民間施設への太陽エネルギー利用施設の導入の推進 [ま：施設計画課] [教：教育環境整備推進室] [環：地球環境推進室]	□導入件数 ◇公共施設 太陽光発電設備（1kW以上）：8か所 ・宮前区役所（10kW） ・多摩区総合庁舎（8kW） ・川崎市平和館（19kW） ・かわさき宙（そら）と緑の科学館（5.4kW） ・生田緑地東ロビーターセンター（5kW） ・生田緑地西ロサテライト（2.5kW） ・さくら小学校（10kW） ・上作延小学校（10kW） ・大師小学校（10kW） 太陽熱利用設備 ・多摩老人福祉センター ◇民間施設 融資制度（継続実施） 市内事業者エコ化支援事業（16件） 住宅用太陽光発電設備設置補助事業 住宅用太陽熱利用設備設置補助事業	□導入計画 ◇公共施設 太陽光発電設備（1kW以上）：5か所 ・百合丘小学校（10kW） ・旭町小学校（10kW） ・東菅小学校（10kW） ・川中島小学校（10kW） ・大谷戸小学校（継続）（30kW） ・田島養護学校（継続）（20kW×2） ・川崎高等学校及び附属中学校（継続）（100kW） ・ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（30kW） ◇民間施設 融資制度（継続実施） 市内事業者エコ化支援事業（継続実施） 住宅用太陽光発電設備設置補助事業 住宅用太陽熱利用設備設置補助事業
太陽光発電設備の導入（長沢浄水場） [上下：施設整備担当]	公募型プロポーザル実施に伴う準備作業	公募型プロポーザルにより工事請負者を特定 ・工事着手
太陽光発電設備の導入（井田病院・多摩病院） [病：井田病院事務局庶務課] [病：経営企画室]	□太陽光発電設備の設置 ・井田病院 20KW □太陽光発電設備の稼働 ・多摩病院（2005年度導入）20KW	□太陽発電システムの稼働 ・井田病院（2011年度導入）20KW ・多摩病院（2005年度導入）20KW

*44 コージェネレーション（熱電供給システム）：（巻末索引用語参照）

I-2-1-2 エネルギーを有効利用する仕組みづくり

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
建築物の熱損失の防止及び空気調和設備等の効率的利用により、建築物に係るエネルギー使用の合理化を総合的に推進 [ま：建築指導課]	エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく届出 届出件数：486件	継続実施
公共施設における断熱性を考慮した建築設計等の採用の推進 [ま：施設計画課] [教：教育環境整備推進室]	□導入建物件数：5公共施設 ・かわさき宙（そら）と緑の科学館 ・生田緑地東ロビーターセンター ・川崎区道路公園センター ・さくら小学校 ・上作延小学校	□導入計画：13公共施設 ・井田病院（継続） ・中央療育センター（継続） ・重度障害者等生活支援施設（継続） ・ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（継続） ・百合丘小学校 ・旭町小学校 ・東菅小学校 ・大谷戸小学校（継続） ・西丸子小学校（継続） ・久末小学校（継続） ・田島養護学校（継続） ・川崎高等学校及び附属中学校（継続） ・（仮称）本町駐輪場・東海道まちづくり文化交流拠点施設
再生可能エネルギー源導入・利用状況調査の実施 [環：地球環境推進室]	継続実施	継続実施
再生可能エネルギー源導入促進 [環：地球環境推進室]	継続実施	継続実施
再生可能エネルギーの利用技術等の最新動向に関する情報収集 [環：地球環境推進室]	継続実施	継続実施
建築物環境配慮制度の推進 [環：環境評価室]	届出件数：49件	継続実施
公共施設のエネルギー需要特性に応じた効率的なエネルギー供給システムの採用の推進 [ま：施設計画課]	□コージェネレーションシステム導入：0件 既導入施設は4物件 ・多摩区総合庁舎 ・川崎病院 ・南部生活環境事業所 ・多摩病院	□コージェネレーションシステム導入計画：0件
効率的なエネルギー供給システムの導入（川崎病院、多摩病院） [病：川崎病院事務局庶務課] [病：経営企画室]	□コージェネレーションシステムの稼働 ・川崎病院(1998年度導入) 625KVA(3基) ・多摩病院(2005年度導入) 400KVA(2基)	□コージェネレーションシステムの稼働 ・川崎病院(1998年度導入) 625KVA(3基) ・多摩病院(2005年度導入) 400KVA(2基)

I-2-1-3 地域特性を踏まえた再生可能エネルギー源等の導入拡大

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
ごみ焼却施設等の余熱による発電や温水プールへの活用の推進 [環：処理計画課]	□発電量 ◇発電実績量（前年度差） ・浮島処理センター： 39,222,300kW/h (-6,312,310kW/h) ・堤根処理センター： 7,392,050kW/h(+214,140kW/h) ・橋処理センター： 16,400,929kW/h (-1,630,341kW/h) ・王禅寺処理センター： 9,185,840kW/h	□余剰電力の売電 ・浮島処理センター、橋処理センター、王禅寺処理センター □余熱利用市民施設への蒸気供給 ・堤根処理センター、橋処理センター、王禅寺処理センター □施設内の冷暖房他余熱の有効利用 ・浮島処理センター、堤根処理センター、橋処理センター、王禅寺処理センター

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
	<input type="checkbox"/> 余熱利用市民施設（温水プール等）へ蒸気供給 ・堤根処理センター、・橋処理センター、王禅寺処理センター <input type="checkbox"/> 施設内の冷暖房他余熱の有効利用	
浄水場から配水池へ送水する際の流水エネルギーを利用したマイクロ水力発電の実施 [上下：水運用センター]	・江ヶ崎発電所：475,500kWh ・鷺沼発電所：425,250kWh	継続実施
下水処理水の水位落差を利用した小水力発電の導入による未利用エネルギーの活用 [上下：下水道計画課]	<input type="checkbox"/> 小水力発電設備による未利用エネルギーの利用 ・入江崎水処理センター（西系再構築施設）：24,646kWh（H23.6からの10ヶ月間）	継続実施
下水汚泥焼却熱の温水プール等への有効利用 [上下：下水道計画課]	<input type="checkbox"/> 入江崎総合スラッジセンターにおける下水汚泥焼却熱による温水プール等の運用 ◇有効利用熱量 ・入江崎総合スラッジセンター：7,379,000kWh	継続実施
グリーン電力の購入推進 [環：地球環境推進室]	・本庁舎：477,000kWh ・イベント（CCかわさき環境ミーティングなど）：11,000kWh	継続実施

I-2-2 地域における低炭素都市づくりの推進

I-2-2-1 面的な対策の推進

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
開発事業地球温暖化対策計画書等を活用した面的なエネルギー利用の促進 [環：地球環境推進室]	計画書提出件数：1件	計画書提出事業者への指導・助言の継続実施

I-2-2-2 高いエネルギー効率を有する建築物の誘導

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
建築物環境配慮制度の推進 [環：環境評価室]	【I-2-1-2 施策参照】	【I-2-1-2 施策参照】